

平成20年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市楠避難会館
所在地	四日市市楠町南五味塚600番地1
指定管理者	名称 楠町商工会 代表者 小方修一 住所 四日市市楠町南五味塚600番地
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒヤリング等により把握しました。 その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課 (問合せ先)	楠総合支所振興課 TEL：059-398-3111 E-mail：kusu-shinko@city.yokkaichi.mie.jp

■ モニタリングの総合コメント

楠避難会館は、新市建設計画に基づき平成18年度末に改築した施設で、市民の地域社会づくりの推進と災害時の避難施設としての利用が設置の目的です。この目的を踏まえて管理運営を行っており、平成19年度に引き続き概ね当初の目的を達成したものと評価します。今後、施設の役割を認識したうえで、他施設（楠防災会館）と競合している状況を勘案しつつ利用者を増やしていくことが検討課題となります。

業務内容については、条例・規則を遵守し、募集要項、仕様書等に定める業務を適正に実施しています。

自主事業については、利用者から好評を得ており、継続していくことが必要です。

経費については、概ね収支のバランスが保たれ健全に執行されました。次年度は施設の利用率アップを図るとともに、より充実した事業運営を期待します。

■ 今後の業務改善に向けた考え方

当施設の目的である市民の地域社会づくり推進とともに災害時の避難施設として、誰にも開かれた安心して利用できる施設管理が望まれます。

楠町内の類似施設に楠防災会館がありますので、施設の意義と今後の運営のあり方が問われるところです。事業面において、楠防災会館との調整を考慮し、いかに差別化を図るかが今後の課題と考えられます。

施設管理面では、法定点検などを確実にしており、利用者から寄せられる意見に対しても、迅速に対応するなど利用者からは一定の評価が得られており、今後も適正な維持管理を求めています。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

市民の文化活動、交流活動等地域社会づくりの推進と災害時の避難施設として利用することを目的とした施設であり、施設の目的に沿った実施方針に基づいて適切に管理運営が行われていました。施設運営や利用者への対応については、利用者の満足度も高く、公平性・平等性は保たれていました。

施設の効用については、次年度以降、利用者を増やすための事業計画が課題です。管理経費については、収支バランスを保ち、適正に執行できました。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取り組み方）

地域住民の社会づくりや施設の大きな役割である防災意識の向上のため、事業計画に則って事業運営に関する業務や自主事業を実施していました。

施設の設置目的を達成するためにも、住民の防災意識の高揚を図る役割を果たすことが今後の課題です。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

運営状況については、職員の勤務体制や開館時間を遵守し適切に運営するとともに、利用者から寄せられる意見に対しては適切に対応していました。

施設の維持管理についても月次の事業報告書にて提出され問題なく実施していました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

貸館料金や付属設備利用料等の収入や、施設の管理費等の支出について適正に処理し、領収書や経理関係調書も整理されていました。

施設の保守点検等に関する報告書類も整理されていました。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

利用者の利便性、安全性を意識しており、火災等の訓練についても消防計画どおり年2回実施していました。

個人情報保護については制定した規程に基づいて犯罪防止・秘密保持に努めており、職員への研修も徹底されていました。

社会性（環境等への配慮）

新しい施設であり、玄関付近に花を植えるなどの配慮は利用者の好感を得ているところです。清掃時の節水等の省力化、障害者利用への対応、廃棄物の分別化についても積極的に推進されていました。

事業収支

経済性

事業収支について、収入については概ね当初計画どおりでした。

また、支出の抑制には努力と工夫が見られました。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者から提出された財務状況について決算書を分析した結果、課題や問題はないと判断しました。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成20年度

施設名	四日市市楠避難会館		所管課：振興課
所在地	四日市市楠町南五味塚600番地1		設置年月：平成19年3月
設置目的	市民の地域社会づくりを推進するとともに、災害時の避難施設として利用するため		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市楠避難会館条例		
施設の概要	設備の概要	敷地面積 (㎡)	623.89 ㎡
		延床面積 (㎡)	291.84 ㎡
		鉄筋コンクリート造 2階建 1階 ホール、防災資機材倉庫、他 2階 和室、保管庫、他	
	事業概要	市民向け会館施設の一般利用 災害時に避難所として使用	

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
開館日数	359日	359日	0日
開館時間	8:30~21:00	8:30~21:00	計画通り

3. 利用実績

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比	
延利用者数	1階ホール	—	2,247人	—
	2階和室	—	1,609人	—
	合計	H19実績3,888人	3,856人	△32人
稼働率	平均	H19実績9.9% (213コマ/2160コマ)	6.9% (148コマ/2,154コマ)	△3.0%
	平日	—	7.5% (109コマ/1,458コマ)	—
	土日祝	—	5.6% (39コマ/696コマ)	—

4. 事業収支

(単位:円)

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)	計画対比
利用料金収入	140,000	51,300	△ 88,700
指定管理料	800,000	800,000	0
その他収入	0	706	706
収入計	940,000	852,006	△ 87,994
人件費	200,000	168,000	△ 32,000
管理費	500,000	356,393	△ 143,607
消耗品費	20,000	0	△ 20,000
燃料費	0	0	0
印刷製本費	0	0	0
光熱水費	200,000	179,171	△ 20,829
修繕料	0	19,800	19,800
通信運搬費	30,000	30,964	964
広告料	0	0	0
手数料	0	0	0
保険料	250,000	126,458	△ 123,542
委託料			
賃借料	0	0	0
その他	0	0	0
事業費(ソフト事業等)	240,000	33,340	△ 206,660
一般管理費	0	0	0
支出計	940,000	557,733	△ 382,267
収支	0	294,273	294,273

平成20年 楠避難会館施設 運営状況 チェックシート

1. 運営企画

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
開館日数	359日	359日	計画通り	開館数及び事業について、当初計画通り行われた。	適
開館時間	8:30~21:00	8:30~21:00	計画通り		
事業開催	1事業開催	1事業開催	計画通り		

2. 利用実績

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否	
延べ利用者数	H19実績 3,888人	3,856人	△32人	実施計画に掲げた平成19年度の水準を保ち、目標をほぼ達成できたと判断する。	適	
事業参加者実績	—	11月 13人	—	当初計画どおり実施された。参加者数については目標設定はないものの、平成19年度との比較では若干減少した。		
稼働率	貸館)ホール	H19実績 121コマ/1,080コマ (11.3%)	90コマ/1,077コマ (8.3%)	△3.0%		当初計画の利用率を下回った。利用率の向上を図るためには、施設のPRが必要である。
	貸館)和室	H19実績 92コマ/1,080コマ (8.5%)	58コマ/1,077コマ (5.4%)	△3.1%		
合計	H19実績 213コマ/2,160コマ (9.9%)	148コマ/2,154コマ (6.9%)	△3.0%			

3. 事業収支

項目	実施計画	実施内容	計画対比	検証・分析等	適否
利用料金収入	140,000	貸館)室利用	35,700	△88,700	利用料金収入については、平成19年度の実績を踏まえた実施計画であったが、周辺自治会等利用料金免除対象の団体の利用率が高いために低迷した。
貸館)設備利用		15,600			
指定管理料	800,000	800,000	0	指定管理料については、実施計画どおり執行された。	適
その他収入	0	706	706		
収入計	940,000	852,006	△87,994		
人件費	200,000	168,000	△32,000	〔勤務体制：正職4人、臨時2人〕	
管理費	500,000	356,393	△143,607		
消耗品費	20,000	0	△20,000	支出については、実施計画より委託料、光熱水費などが抑えられており、特に見積合わせを積極的に行い委託料が抑制できたことは、指定管理者の効果が発揮されたところである。	
燃料費	0	0	0	また、人件費についても楠福祉会館との一体管理により支出を抑えるなど指定管理者の努力が伺える。	
印刷製本費	0	0	0	なお、損害賠償等の保険料は、実施計画では委託料に含まれていたため、委託料で決算した。	
光熱水費	200,000	179,171	△20,829		
修繕料	0	19,800	19,800		
通信運搬費	30,000	30,964	964		
広告料	0	0	0		
手数料	0	0	0		
保険料	250,000	126,458	△123,542		
委託料					
賃借料	0	0	0		
その他	0	0	0		
事業費(ソフト事業等)	240,000	33,340	△206,660		
一般管理費	0	0	0		
支出計	940,000	557,733	△382,267		
収支	0	294,273	294,273		

総合コメント

市民の地域社会づくりの推進と災害時の指定避難所としての目的を併せ持つ施設であり、防災意識の高揚を図るための自主事業の開催は評価できる。支出経費を抑制できたことは指定管理者の工夫と努力が発揮されたものであり、結果的に収益をもたらした。

しかしながら、この施設の立地場所、駐車設備などは決して利用者から見ると利便性が高いとは言いがたく、施設利用者の傾向は周辺自治会等の団体が中心になってきており、指定管理者制度の効果が今後どれだけもたらされるかという点については未知数である。

平成20年度 楠避難会館施設 運営状況 チェックシート①-2

項目	事業分析	適否判断	
利用実績	<p>新市建設計画により平成18年度改築後、指定管理者制度を導入して2年目であったが、利用者数は平成19年度3,888名に対し平成20年度は3,856名とほぼ目標を達成したものの、稼働率は平成19年度の9.9%に対し平成20年度が6.9%と減少する結果となった。</p> <p>稼働率が停滞している理由としては、楠地区内にはこの施設のほかに公の施設として楠福祉会館・楠避難会館などがあり、互いに競合していることが関係していると思われる。指定管理者としては積極的にPR等を行っているが、施設の目的を差別化するなど稼働率向上が大きな課題であると判断する。</p>	適	
事業 収支	収入	<p>利用料金は、事業計画からは大きく乖離した。平成19年度の実績104,560円に対しても、平成20年度の実績は51,300円であり、収入実績は大きく割り込む結果となった。利用料金免除団体以外の団体の利用の促進が必要であるが、指定管理者としても地区内の同種の施設との振り分けやPRにも限界があり、最低でも現状を維持継続することが課題と判断する。</p>	適
	支出	<p>実施計画に対して支出額が相当抑制されており、利用料金等収入が見込めない中、黒字の結果をもたらしたことは大きく評価できることである。</p> <p>管理費における支出額が抑えられたところは、指定管理者の努力の結果であり、収支バランスが保持できたことは、指定管理者制度の効果である。</p>	適